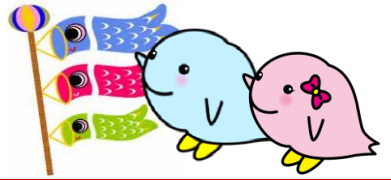




ふたば診療所通信



医療法人社団 支心 事務局 <http://www.shishinn.com>
〒085-0008 釧路市入江町9番14号
tel0154(23)3001 fax0154(64)6611



facebook随時更新しております
2015年4月15日 (第5号)


「暮らしにくさ」を「暮らしやすさ」に

皆さんこんにちは 谷藤です。
唐突ですが、世の中には色々な仕事があります。
同じようにいろいろな医者があります。祖父は産婦人科医でした。
父は脳外科医で脊椎外科を専門としていました。
僕は癌治療と救急医療を経験して、今は在宅医です。



「在宅医療はどうしようもなくなってからのもの」
「あそこに頼んだらあとは死ぬだけ」
かつて「在宅は医療の墓場」と言われた時代がありました。
病院に見捨てられた人が受ける在宅医療推進の政策も「病院で
死ねないから在宅で死んで下さい」と解釈する人も少なくありません。
最期の時、看取りが専門みたいなイメージにとらわれてしまいます。


皆さんはあまりご存じないと思いますが、じつは在宅医療に関わっている
医者の多くが元外科医、元救命医です。
外科医や救命医が在宅医になるのは、命を救う、病気を治すだけが
医者の努めではない。治療を尽くし、命を救い、その先にあるものを
目指しているからだと思います。

治せない病気や障害がある。人の命には限りがある。
そんな当たり前のことを受け入れながら、
でも、最期まで人生をあきらめない！
それが私が在宅医になった理由です。

「良くなりました。もう退院しても大丈夫ですよ。・・・そう言われたけど何だか不安。」
「しばらく通ってくださいと言われたけど、体調も悪いし通院は大変。」
そんな方々のために、退院直後の不安定な時期や通院が苦にならなくなるまでの少しの間だけ
お手伝いすることも在宅医の仕事です。

その人の痛みやつらさを和らげ、暮らしにくさを改善し、納得して、安心して、満足して暮らしていただくことが
ふわりの支援の目標です。

この一年間で60名の方と出会い、60名の方とお別れしました。

お別れした人の中には
元気になって通院できるようになったので訪問診療を終了した方がいらっしやいます。
体調が安定し「ホスピス・ケアふわり」から自宅に戻り、充実した日々を送っていらっしやる方がいます。

もし、病気や障害が原因で、痛みやつらさのために、あるいは介護や看護が大変で、暮らしにくさを我慢している人がい
私達にご紹介ください。

大きな力にはなれないかもしれませんが、何かひとつだけでもお手伝いできることがあると思います。

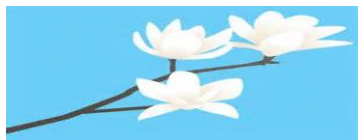
2015年4月15日 谷藤 公紀



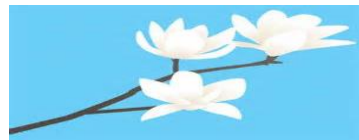
日帰りふわりデイサービスセンターです！！

日帰りふわりは少人数なので、とても家庭的な雰囲気です。
看護師がいるので医療が必要な方もご利用になれますし、ベットやソファー
があるので、休みたい時に横になれるのも魅力ですね！また、診療所の1階
なので谷藤先生がちょくちょく顔を出してくれるのも安心感のひとつです。

おためし体験受付中 ☎0154-31-2202 (谷川まで)



ご家族様からのおたより



ふたば診療所の皆様へ

この度、ふたば診療所の谷藤先生を始め、看護師さんの皆様方の細やかな気配りと、ご親切な対応のもと、夫は眠るように、思いのほか静かに旅立つ事が出来ました。私どもの念願でもあった「家族で看取りたい」との要望に対して誠心誠意ご協力ご協力頂きました事、家族一同から感謝申し上げます。誠にありがとうございました。
夫も常々「先生に命を預けた！」と言っておりました。お陰で私どもも迷わず安心して対応する事が出来たものと思っております。

お世話になりましたから2年と3ヶ月ほどでしょうか？家族の我が儘な言動等にも全てを受け入れて下さり心から感謝申し上げます。
そして楽しく交わって下さった先生、看護師さんとの会話は夫はもとより私どもにとっても大切な思い出になるものと思っております。
自らも「俺の口に蓋をしておけ！」と言っておりましたが皆様との会話が出来る時間を楽しみにしていたのだと思います。
そして看護師さんに帰り際に「ちょこちょこ(家に)来て下さい。」の言葉通りに頼りにしていたのだと思います。

何から何までいき届いたシステムに新しい時代を感じております。
これからも先生を始め皆様方のご活躍を心から願っております。
最後に我が儘な家族を親切に支えて下さり誠にありがとうございました。

木村 優子



診療中のはずが木村さんと奥さんと先生の3人で何故か豆つまみの競争が始まりました。



木村勇様のお宅は訪問診療と訪問看護でお世話になりました。勇様はとってもユーモアのある方で、訪問時に先生と交わす最初の挨拶は常に時代劇調でした。時には先生が刀を持ったフリをして「バサーッ！！」と切りつけるマネをすると「あ〜っ！ やられたあ〜っ！」と切れられたフリをするなど、ふたりの間には阿吽の呼吸がありました。
そんな木村様もH27年3月7日の夕方にご家族様が見守る中、思い出がたくさん詰まったご自宅にて旅立たれました。とても愛情溢れるご家族で、奥様・長男様・長女様で最後までお父さんを支え抜いた姿は立派でした。
木村家の皆様、たくさん思い出を本当にありがとうございました。

ふわり訪問看護ステーション工藤咲子Nrsに 赤ちゃんが産まれました！！



現在産休・育児休暇中の工藤咲子看護師ですが、H27年1月17日に元気な男の出産されました！！お名前は「工藤凜久(りく)」君です。
2月半ばにファミリーでふわりに遊びに来て下さった時の写真を掲載致します。
以下、皆様へ工藤咲子看護師からのメッセージです！！

1月に男の子が産まれました！！

今は毎日、初めての育児に奮闘しています。復帰して、またお会い出来るのを楽しみにしています。皆様もお元気で

看護師 工藤咲子



幸せいっぱい
の
工藤ファミリーです。

<編集後記>



もうそろそろ桜の季節ですね。診療所を開設してから沢山の家庭にお邪魔しましたが、お庭に桜の木があるお宅も多く、それぞれのご家庭にはそれぞれの桜にまつわる思い出があります。自宅の庭の桜が咲いたと同時に旅立たれたAさんのご家族様は「桜の季節に父が逝ったので、私達はこれから毎年桜の下に集まる事が出来ます。父からの最後の、最高の贈り物です。」という心に染みる言葉を寄せて下さいました。皆様はどんな思い出と共に今年の桜を眺めるのでしょうか？